

自分の力を伸ばすものとして、ライバルの存在があります。

ライバルをもつことは、大切です。

勉強、部活動等、競い合える相手は自分の心に励みをもたらしてくれるもの。

でも、見方によっては、恐ろしさもあります。なぜなら、善良とはとても言えない事柄に対して、互いに向き合いながら熱中していくと、その成果は上がるどころか、己の成長を妨げてしまうことになりかねないからです。

人の悪口や不平不満ばかりを言っている人、ネガティブな思考が好きな人等は、敬して遠ざけておいた方がよいと考えます。

やっぱり、人をよく見て付き合うことは大切だと言えます。

「いまだかつて一度も敵を
作ったことのないような人間は、
決して友人を持つことはない。」

アルフレッド・テニスン（イギリスの詩人）